

毎日農業記録賞 応募にあたっての



一般部門・高校生部門共通

Q 募集要項に「2800字程度」とありますが、どの程度まで増減が認められますか？

A 作文の字数に多少の過不足があっても応募を受け付けますが、「2800字」から大きく外れると、審査で不利になる可能性があります。

Q パソコンを使って書く場合、何枚の紙に印刷すればいいのですか？

A 必ずしも1枚400字の用紙を使う必要はありませんが、極端に細かい文字は避けてください。縦書きでも横書きでも構いません。

Q 応募作品に図や写真を使っても構いませんか？

A 使っても無効にはなりませんが、審査対象はあくまで文章です。使用する場合、図は自作に限り、写真は撮影者や出典を明記してください。

Q 過去の受賞作品を読みたい。

A 毎年、中央入賞作品集「キラキラ農業」(1冊1600円、税・送料込)を刊行しています。郵便局で代金を振り込むと、冊子を郵送します。問い合わせは毎栄(電話03-3212-0479)。毎日新聞社のウェブサイト(<https://www.mainichi.co.jp/event/mainou/>)でも、過去の受賞作の要旨(一部作品は全文)を掲載しています。



一般部門

Q 農業をしていなくても応募できますか？

A 「農」や「食」に関心がある方なら、職業を問いません。大学生・農業大学校生、家庭菜園に取り組む主婦や定年退職者、研究者からの応募も増えています。

Q 「新規就農大賞」の対象は？

A 一般部門で2013年1月1日以降に農業経営や農業を始めた人、法人に雇われて農業に従事した人が対象です。「最優秀賞」6編から中央審査委員が選びます。

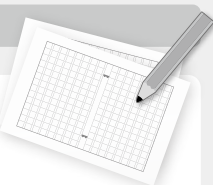
高校生部門

Q 学校の授業や部活動などで同級生らと一緒に取り組んだ話も応募できますか？

A できます。ただし、学校やグループの取り組みの記録ではなく、あくまで応募者本人の体験、思いを中心に書いてください。グループ応募の場合も同様で、単に活動を記録しただけに終わらないようにしてください。

Q 学校経由で応募できますか？

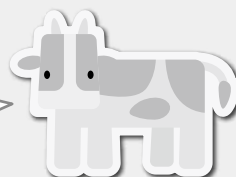
A できます。その場合も、筆者本人の住所、生年月日、学年の明記を。学校所在地と異なる都道府県に住む生徒の作品を応募する場合は、居住地の毎日新聞社(支局等)へ。



Q 東京農業大学の一般学校推薦型選抜の受験資格について教えてください。

A 優秀賞受賞者のうち東京農業大学進学を第一希望とする人は、東京農業大学の一般学校推薦型選抜(公募型)の受験資格を得ます。高校長が推薦し、かつ各学科の入学者としての要件(農学部農学科であれば「先導的、先進的で地域等の中核を担う農業生産者を志す者」など)を満たしていることが条件です。詳しくは、東京農業大学の入学センター(電話03-5477-2226)へ。

ふるって
ご応募
ください!



毎日農業記録賞

毎日農業記録賞は、「農」や「食」、「農に関わる環境」への関心を高めるとともに、それに携わる人、これから携わろうとする人たちを応援する賞です。JAグループや全国農業高等学校長協会の関係者、農業に詳しい有識者らが審査にあたります。

1973年の賞創設以来、募集テーマや応募対象を広げ、農業者による生活記録だけでなく消費者ら幅広い方の発言、発信の場となりました。

2022年(第50回)には一般部門212編、高校生部門1013編の計1225編の応募がありました。

入賞者は毎日新聞の紙面やサイトで紹介し、上位作品の全文を掲載した冊子「キラキラ農業」を毎年発刊しています。